日刊
常磐新聞
發行所常磐新聞社　福島縣平町南町五九
發行人　伊藤隆次　福島縣小名濱町吉港一
五月七日夕刊
一ヶ月　三十錢
一部　二錢
廣告料　一行五十錢
場所指定　十錢增
日曜祭日翌日休刊

決算をする迄は 出帆罷りならぬ
カムチヤツカ行を目前に 共同經營船の爭ひ

江名町中之作、田中次助氏所有船進喜丸（二六噸）はカムチヤツカに出漁すべく一切の仕込みを終へ昨六日夜まさに錨を拔かんとした時に共同經營者同字吉田鶴次郎氏から苦情が出て出帆中止となつた。

決算をせぬとは 言語同斷
吉田鶴次郎氏談

成程名義は田中君一人だが船の權利は私が持つてゐる、それなのに昨年八月新造以來收支決算をせぬとはなにごとだ、此の權利も實際の所有者は私の兄鈴木權三郎なので田中君は兄に對し毎月十圓づゝ寄す約束があるにも拘らず一度でもよこしたことがあるか、おまけに兄が借金の低當として預けた印形を田中君は勝手に使つて斷りもなく田畑を賣つてしまつた、決算をする迄はどんな事があつても船は出させぬ。

世間は承知
田中次助氏談

世間が全部知つゐますから私は何も言ひません。間に立つ人もあり船は今夜出ることになつてゐる

前科二犯の老賊 世の見納めに 鐵窓に繋がる

若松市材木町生れ住所不定（六九）は去月廿五日植田町大字仁井田猪狩トシ方の留守宅に忍び込み衣類金屬等數點五拾圓余の物品を盜み、昨六日植田地内を徘徊中植田署員に捕縛された。取調中だが余罪ある見込

磐炭へ出稼に行つた夫 妻子を置去りに 行方不明？

山形縣東置賜郡犬川村大字黑川遠藤練太郎は數ヶ月前より磐城炭礦へ出稼に行つた儘、音信不通の爲妻ハツノは去月十六日平署宛に捜査願を出したが本人不明である。

尚ハツノは本年三ツと二ツになる子供二人を抱へ夫練太郎より送金されず生活に追はれ當方に暮れてゐると。

江名の巡査さん 天晴れ弓道初段
武德會から免許

江名駐在所の眞弓さんはかねぐ〜弓道熱心で知られてゐたが、去五日大日本武德會から正式に初段の免狀が届いた。

先月三日平警察署弓場で行はれた試驗にパスした結果ではあるが、六分の強弓を平氣で引く氏にとつてはむしろ食ひ足りないくらいであらう、江名にも弓場があり同好者が集つて毎日練習してゐるが仲間から有段者を出したといふので鼻高々である。

豊間大敷網 マグロの大漁

去三日豊間村〇大大敷網では廿五六貫のマグロ六百本の漁獲があり金額で約一万八千圓であつた相場は十二割見當

上神白にまた コソ泥

江名町上神白、丹野モトメさん方では去一日セルの單物と羽織を盜まれた、附近ではつい先日も着物二點をやられビクついてゐる。

寢てゐる仲間を 出刄でグザリ
昨夜醉つ拂ひ土工の兇行！

昨六日夜十時頃、江名水道の土工春山（三〇）が同町永崎安田飯場で床に入りながら仲間と雜談してゐると同じ土工の鹽坂（三六）が醉つて上り込み二つ三つ言葉を交してゐる中に懷中してゐた刄物でいきなり春山の左肩を突き通した、驚いて仲間がすぐに刄物を奪ひ取つたが出血が多くかなり重態である、原因は鹽坂が春山にかね〳〵恨みを抱いてゐたのが醉ひと共に爆發したものと見られてゐるが警官急行嚴重取調中

まつりは近ついたが ハツキリ言へぬお天氣
小名濱測候所長談

本日は江名町永崎の祭禮であるがこれから當分は毎日のやうに各地のお祭が續く、そこで何といつても氣になるのがお天氣、小名濱測候所に小磯所長さんを訪れて模樣を聞くと、

さあ…どうも今が一番お天氣の變る時節なので一週間も先のことゝなりま[illegible]

[illegible]

るはずで、その後は三四日晴天が續くだらうと、まあ思つてゐます。

これからは南風さへ吹けばお天氣なので、北風が吹く時は要心しなければなりません、今日の午後が雨といふのも昨日北東の風が吹いてゐるからでこれが今にも南になれば豫報はガラリ外れて今日[illegible]ふことになりますと語つた。

薄磯・沼ノ内の兩間に 愈々電話架開設始さる

豊間郵便局に於ては昨年より電話架入區域設運動中の處愈々之が實現され開始される事になつた。區域は大字薄磯同沼ノ内に對し四個の電話架設する事になつた。

佐川町議嚴父の訃

小名濱町下町町會議員佐川榮次郎氏嚴父消吉翁は老病にて病臥中の處六日午前六時眠が如く逝去された。享年八十二

父佐川清吉老病の處五月六日午前六時死去致し候に付き此段御通知申上候

追而葬儀は來る八日午後一時小名濱町安養院に佛式を以て告別式執行仕り候

昭和十年五月七日

男　佐川榮次郎
親戚總代　佐川松太郎
田中權次郎
鈴木　要
佐川東吉

豆ニユース

◎小名濱漁業組合長水野政治郎、同町洋品店金成屋の主人、金成嘉忠の兩氏は先頃赤十字社福島支部に各々貳百圓づゝ寄附したのでこの程伊藤知事から表彰された。

濱だより
（六日分）

小名濱（魚市場調査）

魚名	漁獲高	單價割
アラ	五十貫	廿—廿一
ガラ	百八十貫	八
ノド	百八十貫	七—八
タコ	百五十貫	五
タナゴ	百貫	十—十一
スズキ	卅貫	廿一
ダボ	百貫	六—九、五
鰯	二千箱	

一箱五八錢—七五錢
トウジン千箱
一箱四十錢六十錢

入港數底曳船　十八
アグリ網船　九
カンコ繩船　六
タナゴ網船　六

中之作（本藏商店調査）

タラ	二千貫	〇、五
トウジン	二千貫	〇、六
アカヂ	五十貫	一
タコ	三百貫	四
ナメタ	百貫	四—五

入港數　底曳船　廿艘

江名濱（ト印商店調査）

トウジン	五千貫	〇、七
タラ	千貫	〇、七
銀鮫	三百貫	〇、四
ナメタ	二百貫	四—五
タコ	百	三、五
ギス	二百	四—四、五
アカヂ	九百貫	一—三

入港數底曳船　十一艘

天氣豫報
五月六日
小名濱測候所發表

今晩—南東の風
明日—南西の風、晴れ時々曇
八丈島曇　新潟晴　銚子雨

時事放言

期間付で組頭にしてやつたら何時辭める心算か御輿を据え込んだ松本組頭も側が氣を揉む程落付拂つて居ると云ふので尙ほヤキモチする連中もある。何せ動かすなら役場の方へ御參りする事さ。

× ×

底曳の噸數不足で中山場長へ三三ネジ込んだ連中も何うやら纏ふて一安心の樣だが、それよりも中山場長の方がドレ程助かつたことか、一時は首を投げ出しても何とかすると誓た位だから此頃はカラーも一吋位增したものだらう。

× ×

見殺しにもせまいがあの儘葬むつたら江名町に人ないと云はれても仕方があるまい、太淸左工門の人世の最後を飾らせたい爲めに大雅量を示して擧町元の鞘に收める氣はないものか。

× ×

一萬以上の人口を有するまで圖書館の一つ位なくては外聞が惡ひばかりでない第二の町民を養育する爲には是れなくてはならぬ、金は問題でない、大方の寄附に據つても五千部の書籍は集まる、初めは借家でも宜い、基礎さへ造れば後は委員でも擧げて活動すれば世の中には隱れたる篤志者も必らずあるものだ。

× ×

學校對保護者間をも少し密接せしむるのが必要だと思ふ、保護者會も良いが何時も全じ顏觸れでは意義がない、先生達の街頭進出をやつて保護者の立場を好く知る事と先生の仕事の忙し事を知らしめなくては眞の敎育効果は現はれまい。

× ×

商工業の發達を期する爲めに商工會の組織がなければ活動機關の中樞となるものがないので困る、宮城縣にたりでは商工會制定法の法律案さへ政府に提案準備を商討してる有樣なのだ、法人組織に依らなくても各產業團体を一括しさへすればそれで良い、後は着々合法的に考ひればよい。

募集

編輯部　一名
營業部　二名

編輯部員は活動的な青年を要望し營業部員は中年者を望む。

希望者は手紙にて過去の經歷を書き送り下さい。

面會日通告す

日刊　常磐新聞社

廣告の御用命は部數の多い常磐新聞へ

◎工場擴張報告◎

工場新築增設三十坪を加へ工場機械整備各位の御注文に對し技術改善は勿論廉價迅速に製作可仕候間倍舊の御愛顧を希上候

昭和十年五月五日

技術改善

製作品種目
高圧タービンポンプ
電動捲揚機械
シロツコ旋風機
コールクラッシャー
送炭用チエソコンベヤー

良品廉價

福島縣平町字堂前
合資會社　吉伴製作所
電話平二二五番

柄合の撰擇は
商品豐富な店
江尻呉服店
商號　西村屋
通稱　タイモン
小名濱町横町
電話二十四番

呉服類は
樋口呉服店
小名濱町中島通り

小名濱分院開設
毎週月、水、金、午后五時出診
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
本院　平町南町一六
電話平一七〇番

金成鑛泉

新築落成
石城郡玉川村大字金成
高砂館
宮内熊次郎

主成分

クロールカリウム	〇、〇二四六
クロールナトリウム	〇、〇一九九
硫酸ナトリウム	〇、一四六
硫酸カルシウム	〇、一九五二
硫酸亞酸化鐵	〇、〇二四三
硫酸アルミニウム	〇、一四八四六
硫酸マグネシウム	〇、〇三九〇
メタ珪酸	〇、〇一四五
遊離硫酸	〇、〇〇七五
其他燐酸	痕跡

主治効能

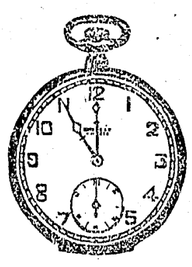
外傷性障害、慢性筋及關節レウマチ慢性濕疹、官能性神經病（ヒステリーと神經衰弱）輕度ノ脊髓病、中樞及び末梢性マヒ（輕久性半身不隨、小兒マヒ）婦人性生殖器の慢性諸病、慢性攝護腺炎、諸病恢復期、腺病質、下腿潰瘍、手足多汗症、靜脈瘤、慢性泌尿器及生殖器病。　以上

親切　KS　第一
船用電氣
各種發電機
各種蓄電池
捲替修理
各種電球
販賣
磐城小名濱町
スマヤ電氣部
ケーエス商會
店主　小濱敬太郎
電一五九

靴文註
5.00より
修繕
1.00より
1.70まで

小名濱町（郵便局東隣り）
平屋靴製造店

各國時計各種指輪、眼鏡、蓄音器、ラヂオ附屬品　一式修繕、正、迅



小名濱町中島通り
内山時計店
電話四十九番

クスリと家庭醫療の御相談は親切の店
白石藥舖
小名濱町中島通り
電話三三番